タイトル	著者名	内容紹介
エピクロスの処方箋	夏川 草介	「医療では、人は救えないんだよ」現役医師が描く人の命と幸福について。 「君はここまで来るために、何人の患者を死なせてきた?」思想する医師・雄町哲郎は今日も京都の街をゆく。
百年の時効	伏尾 美紀	1974年に起きた一家惨殺事件。 未解決のまま50年――。 アパートで見つかった、一体の死体によって事件の針は再び動き出す。
ハレーション	森沢 明夫	同級生・涼子の飼い猫が海に転落したのを目撃した拓海は、親友・風太の父に助けを求めるも、台風一過の海に飛び込んだ彼は帰らぬ人となってしまう。成長した拓海は島を出て働いていたが、風太と「偶然」にも再会し……。
さよならジャバウォック	伊坂幸太郎	結婚直後、夫は別人のように冷たくなった。暴言にも耐え息子を育ててきたが、ついに暴力をふるわれた。そして今、自宅の浴室で夫が倒れている。夫は死んでいる。私が殺したのだ。途方に暮れていたところ、後輩が… 。
いただきます。	喜多川 泰	19歳の翔馬が楽に稼げると聞いて飛び込んだバイト先は、大学の守衛室。自分と年齢の変わらない学生たちに見られながら、老人と一緒に働くなんて。しかし、同僚の過去を知り、翔馬の世界の見方は変わっていく。仕事とは何か、人生とはなにか…